



横浜で活動する新進アーティストのキャリア形成を支援 2022年度アーツコミッション・ヨコハマの助成募集開始！

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団は、文化芸術のもつ創造性を生かしたまちづくり「文化芸術創造都市・横浜」の推進のため、アーツコミッション・ヨコハマ（ACY）事業を実施しています。この度、横浜から国内外に芸術文化を発信すべく、新進アーティストのキャリア形成を支援する助成制度の募集を開始します。あわせて助成説明会を3月23日（水）、3月28日（月）にオンラインにて実施いたします。

横浜から世界へ羽ばたくアーティストを支援 【U39 アーティスト・フェローシップ助成】

- 内容：国際的な芸術文化の発信を目指すアーティストの多様な活動に対して、年間の活動経費の一部に対する助成金をはじめ、各種情報提供や広報など、横浜での活動を中心に柔軟に支援し、キャリア形成を推進する。
- 対象：1. 美術、舞台芸術分野において活動する芸術家
2. 2023年3月31日時点で39歳以下
3. 2022年度に創作を行う活動拠点が横浜市内にあること
- 交付金額：100万円
- 申請期間：2022年2月28日（月）～4月15日（金）必着



2021年度U39アーティスト・フェローシップ助成採択／荒木悠
展示風景「双殻綱：第二幕」無人島プロダクション、東京 撮影：森田兼次



2021年度U39アーティスト・フェローシップ助成採択／ハラサオリ
上演風景「P wave」Dance Base Yokohama ©Yunosuke Nakayama

※ぜひ当募集の取材、情報掲載をお願い申し上げます。

*助成募集、助成説明会の詳細は、本日公開されるウェブサイトをご確認ください。

<https://acy.yafjp.org/grants/>

*本紙、2枚目以降に2021年度の採択内容を掲載しています。

お問い合わせ先 *本日は、19:00まで在席しております。

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 広報・ACYグループ tel. 045-221-0212
グループ長：森井健太郎 担当：里見有祐



(参考資料) 【2021 年度 U39 アーティスト・フェローシップ採択者】(50 音順、プロフィールは申請時のもの)

氏名	荒木 悠 (アラキ ユウ)	交付金額	1,000,000 円
プロフィール	アーティスト、紙カンパニーproject メンバー。1985 年生まれ。異文化間のはざまに取り巻く事象を再現・再演・再話といった手法で編み直す映像インスタレーションを展開している。近年の主な展覧会に「三泊五日」(板室温泉大黒屋、2021 年)、「Returning: Chapter 1」(シドニーオペラハウス、2021 年)、「距離をめぐる 11 の物語: 日本の現代美術」(国際交流基金、2021 年)、「Connections—海を越える 憧れ、日本とフランスの 150 年」(ポーラ美術館、2020 年) など。		

氏名	北尾 亘 (キタオ ワタル)	交付金額	800,000 円
プロフィール	振付家・ダンサー・俳優。1987 年兵庫県生まれ。幼少より舞台芸術に携わる。2009 年ダンスカンパニー [Baobab] を旗揚げ。単独公演ほか国内外のフェスティバルに参加。振付家として、柿喰う客、KUNIO、木ノ下歌舞伎など舞台作品のほか、映像作品へも多数振付。ダンサー・俳優として、近藤良平、多田淳之介、杉原邦生、山本卓卓などの作品に出演。WS 講師やアウトリーチ活動を日本全国で展開。急な坂スタジオサポートアーティスト。尚美学園大学、桜美林大学非常勤講師。横浜ダンスコレクション 2018 コンペティション I 「ベストダンサー賞」ほか、多数受賞。		

氏名	佐藤 朋子 (サトウ トモコ)	交付金額	800,000 円
プロフィール	アーティスト。1990 年長野県生まれ、神奈川県在住。2018 年東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻修了。レクチャーの形式を用いた「語り」の芸術実践を行っている。シアターコモンズ'21 にてレクチャーパフォーマンス「オバケ東京のためのインデックス 序章」を発表。2020 年より青柳菜摘と共同で「TWO PRIVATE ROOMS - 往復朗読」を開催。個展に「MINE EXPOSURES」(BIYONG POINT、秋田、2019) がある。		

氏名	佐藤 未来 (サトウ ミク)	交付金額	800,000 円
プロフィール	美術家。2019 年東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻修了。2021 年より同大学院後期博士課程映像研究科に在籍。現在、オランダと日本を拠点に制作を行う。さまざまな場所のフィールドワークをベースに、そこに住む人々を起用してプロジェクトを立ち上げていく。映像インスタレーション、ワークショップなどを用い、歴史をオルタナティブなかたちで再演することを試みている。主な個展に 2020 年「Girls Got Golds」puntWG (アムステルダム)、主なグループ展に 2019 年「Findet mich die Welt?」Galerie 21 (ハンブルク) など。令和元年度文化庁新進芸術家海外研修制度研修員。		

氏名	高野 萌美 (タカノ モエミ)	交付金額	800,000 円
プロフィール	現代美術家。幼少期に親しんだコンピューターグラフィックスのピクセルによる図画との類似性から布の経糸と緯糸が織りなすパターンに興味を持ち、布が抱える社会・文化的背景と美術史が混交する地点を模索している。近年は紡ぎ、染め、織り、刺繍など布の製造にまつわる手作業に自ら関与し、できたものをあたかも大量生産された材料であるかのように大胆に使用した平面・立体作品を制作、タイトルとあわせて個の営みが持つ儚さと強さ、現代社会に生きる喜びと虚しさなど、複雑な生の在り方の表現を試みる。		

氏名	ハラサオリ (ハラサオリ)	交付金額	800,000 円
プロフィール	美術家、振付家、ダンサー。ベルリン、東京、横浜など複数の都市を拠点として、空間と身体、帰属意識をテーマとしたパフォーマンスや振付作品を制作する。近年はデザインや生態心理学を参照したムーブメントリサーチを展開している。2021 年春、自身のプロダクションカンパニー Co. S を設立。東京藝術大学デザイン科修士、ベルリン芸術大学舞踊科ソロパフォーマンス専攻修了。2020 年第 9 回エルスール財団新人賞コンテンポラリーダンス部門受賞。		